

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

中央階級教養館開館

2016年7月28日付『朝鮮新報』によれば、同年6月24日に開館した。展示場面積3,200平方メートルの同館は、「米日帝国主義者たちと南朝鮮傀儡たち、階級敵らの野蛮さと悪辣さ、残忍さを見せてくれる1,670余点の写真資料が展示されている」とのことだ。北朝鮮における階級教養が、主に日米や韓国といった「外敵」との闘争を主軸に描かれていることがよくわかる。

金正恩委員長、平城合成皮革工場を視察

2016年7月12日付『朝鮮中央通信』によれば、金正恩朝鮮労働党委員長が平安北道平城市にある平城合成皮革工場を視察した。朴奉珠内閣総理などが同行した。主に靴の原料となるこの合成皮革工場は、2011年10月に金正日総書記が視察したことが知られている。

金正恩委員長、白頭山建築研究院を視察

2016年7月14日付『朝鮮中央通信』によれば、金正恩朝鮮労働党委員長が白頭山建築研究院を視察した。朝鮮労働党国務委員会設計局長の馬園春局長が同行した。同研究院は、北朝鮮の最近の大規模建築を設計しているとされる。

金正恩委員長、朝鮮人民軍第810部隊傘下の魚粉飼料工場を視察

2016年7月24日付『朝鮮中央通信』によれば、金正恩朝鮮労働党委員長が朝鮮人民軍第810部隊傘下の魚粉飼料工場を視察した。黄炳瑞朝鮮人民軍総政治局長らが同行した。同魚粉工場は魚を養殖するための飼料工場で、金正恩委員長は2015年3月にも同工場を視察している。

金正恩委員長、千里馬建材総合工場を視察

2016年7月27日付『朝鮮中央通信』によれば、金正恩朝鮮労働党委員長が千里馬建材総合工場を視察した。黄炳瑞朝鮮人民軍総政治局長や朴永植人民武力部長らが同行した。屋根用天板や軽量鋼鉄構造材、樹脂建材の生産ラインや製品展示場を視察した。

中央動物園のリニューアル工事と自然博物館の新設工事完成

2016年7月27日付『朝鮮新報』によれば、同月24日、平壤市大城区域にある中央動物園のリニューアル工事と自然博物館の新設工事が終了し、竣工式が行われた。自然博

物館は総建築面積約3万5000平方メートルで、宇宙館や動物館、植物館等で構成されている。

石炭増産のために揚炭作業の総合的機械化を推進

2016年7月28日付『朝鮮新報』によれば、朝鮮労働党第7回大会において、埋蔵量が多く、採掘条件の良い炭坑に投資を集中し、石炭を増産する方針が提示されたとのことである。石炭工業省は国家経済発展5カ年戦略の目標を現存生産能力の1.6バイトすることにしたという。この目標達成のために、新たな炭坑と坑道を開発することに注力するとともに、主要炭坑の揚炭作業の総合的機械化の実現に関心を深めているとのことである。

金正恩委員長、朝鮮人民軍漁具総合工場を視察

2016年7月30日付『朝鮮中央通信』によれば、金正恩朝鮮労働党委員長が新たに建設された朝鮮人民軍漁具総合工場を視察した。黄炳瑞朝鮮人民軍総政治局長らが同行した。2015年3月に朝鮮人民軍漁具総合工場を視察した金正恩委員長は、生産面積を5倍、生産量を8倍にする新工場の設置を発議したとのことである。新設された同工場の延べ建築面積は1万8,650平方メートルで、生産工程の近代化には産学協同であつたとのことである。

金野江軍民発電所が操業開始

2016年8月4日付『朝鮮中央通信』によれば、同月3日、咸鏡南道の金野江軍民発電所の操業式が開かれた。同月5日付、韓国『統一ニュース』によれば、設備容量18万キロワットの本発電所は建設開始から22年をかけて完成したとのことである。

金正恩委員長、大同江果樹総合農場と大同江養豚場を視察

2016年8月18日付『朝鮮中央通信』によれば、金正恩朝鮮労働党委員長が大同江果樹総合農場と大同江養豚場を視察した。大同江果樹総合農場は、金正日総書記が手塩にかけたリンゴ農場として知られており、2015年8月にも金正恩委員長が視察している。大同江養豚場も金正日総書記の発案で2011年に開設された規模の大きい養豚場であり、人民保安省内務軍の傘下にあるとのことである。

平壤大同江ビール祭典が開幕

2016年8月22日付『朝鮮新報』によれば、同月12日から平壤大同江ビール祭典が始まった。9月初旬までの毎日19時～24時まで開かれる予定とのことだ。

(ERINA 主任研究員 三村光弘)